

ホビット団の挑戦 - エラポスの涙 -

2014 fall
11/1(土)~3(月・祝)

ホビット団
レンジャー隊
募集中!

= ホビット団指令本部 =

登場人物紹介

※この物語はフィクションです。

■ ホビット団

世界中の財宝や美術品などの価値のあるものを、探し出し保全をしている。

自分たちの利益のためではなく、貴重な「おたから」を守るために行動しており、世界中の国と地域が、ホビット団の活動を支援している。

発見されたおたからは、発見された地域で保全することを原則としているが、一部のおたからは「ホビット美術館」にて、厳重に保管されている。

団内は大きく、おたからの調査や発見を目的とした「調査部」と、おたからを守ることを目的とした「保全部」、団全体の調整等を行う「総務部」で構成されている。

最近では、ホビット団の調査能力の高さから、直接「おたから」とは関係ない調査依頼も多くあるが、団の財政難もあり、これらの調査も受けているのが現状である。

■ 小隊長

ホビット団調査部・第八調査レンジャー隊小隊長。

明るい性格のため、上司や部下に好かれているが、抜けている部分も多い。最近、ようやくスマートフォンに携帯電話を変えたらしく、「Line」にハマっている。

今回は「先行調査」で宮島に向かったが、3週間前から消息をたっている。

■ 依頼人

ホビット団に「おたから」やその他の調査を個人的に依頼する人のこと。

ホビット団に調査を依頼した場合、高額な料金がかかるため、依頼人はそれなりに「お金持ち」の人が多らしい。

■ ル・エラフィ

今回の依頼人。分かっていることは、宮島に住んでいて、女の人らしいということ。なぜか報酬と一緒にパンも用意してくれている模様。

【謎を解いたら↓】

実は、男の人だった。何者かに狙われており、身の危険を感じ、ホビット団に暗号付きの手紙を送った。レンジャー隊が謎を解いていくと、「エラポスの守護者」だったことが判明する。「だがしかし！」が口癖。

■ 協力者／情報屋

ホビット団の活動に賛同して、情報提供や現地調査の手助けをしてくれ、世界各地に点在する。

協力者や情報屋の多くは、盗賊などに命を狙われる恐れがあるため、一般市民にまぎれて生活している場合がほとんどである。

■ ゴブリーニ4世

前回、ホビット団に挑戦してきた「世紀の大どろぼう」。世界中の「おたから」を盗み出している。

細かい素性はあまり分かっていないが、前回の最後の方はけっこう良い人だった。

【謎を解いたら↓】

実は、ホビット団にヒントをくれていた??

